

The Ushiku Times



NO. 27 Oct. 21. 2016

茨城県立牛久高等学校 校長室から



【 美ら海水族館：ジンベイザメの勇姿 】

陸上部 女子棒高跳び 関東大会出場 おめでとう



壮行会の様子（H 28. 10. 18）



写真 右から 陸上部顧問：本田教諭

中央(2年生 広川 夕夏さん：左 1年生 家中 紗菜さん)

壮行会で話した内容の一部： ノーベル医学・生理学賞 大隅良典（おすみ よしのり）さん

記者会見で、「人がやらないことをやろう」という思いから、研究を始めました。強調したいのは、この研究を始めたときに必ず『がん』の研究につながるとか、『寿命』の研究につながると確信して始めたわけではありません。そういうふうに、基礎研究が転換していくんだということを強調しておきたいです」と述べ、自然科学の分野での基礎研究の重要性を強調しました。

「棒高跳び」という競技は、まず「ポールをもって走ること」、「跳躍すること」、「最高点で逆さまになること」「バーを越えると同時にポールを手放すこと」「しなやかに身をこなしポールを越えること」そして「着地すること」等、こうした一連の動作をこなすためにやはり「基礎体力」・「技術」、そして恐怖心と闘う「勇気」が必要ですね。

※

※

※

COFFEE BREAK

※

※

※

『50代にしておきたい17のこと』（本田 健著）の中で、「怒り」について次のように述べている。

- ・・・自分は、この世界に受け入れられていないんじゃないか、家族に受け入れられていないんじゃないか、会社に、国に尊重されていないんじゃないか — という悲しみが怒りに変わるのです。・・・わき上がってくる感情を冷静に見て、その感情は国とか、パートナーとかとは、全く関係がないことに気づくことは大事です。その悲しみや怒りが出たのは、「自分が自分を受け入れなかっただけだ」と気がつくことが、心の平安へのスタートなのです。（問：あなたは、セルフコントロールができていますか。）